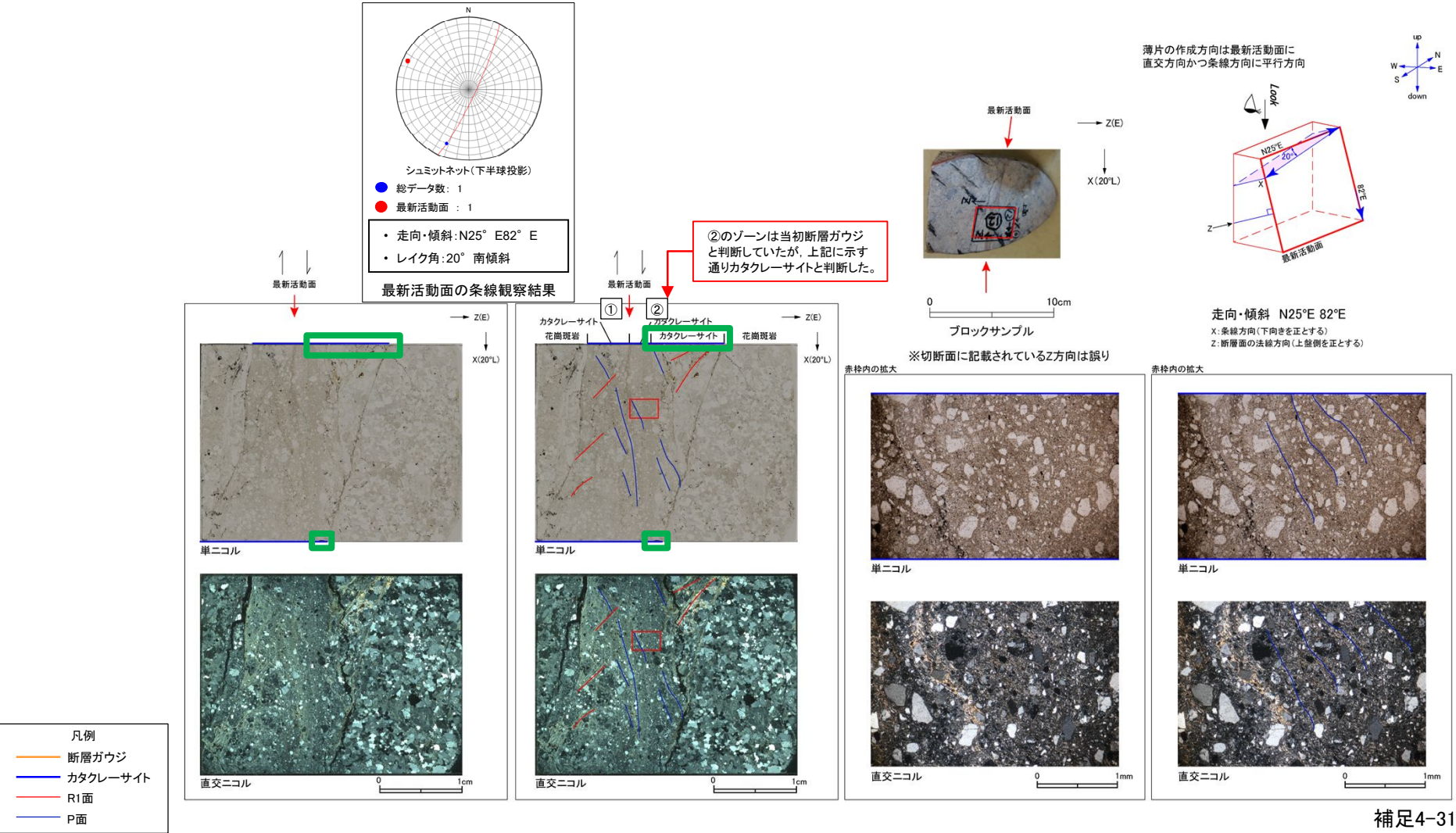


H27-B-1 深度69.70~69.73m 非モデル化破碎部(1/3)

 : 修正箇所 修正後

- ・H27-B-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度69.70m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。
- ・断層岩区については、ゾーン(②)はカタクレサイトと評価したゾーン(①)より細粒であり、破碎流動も比較的少ない。また、全体的に粘土鉱物が認められることから、断層ガウジと判断していた。(第833回 机上配布資料1)なお、ゾーン(①)にはジグソー状の角礫群などのカタクレサイトと示す特徴が認められる。
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施したところ、②のゾーンには以下の特徴が認められることから、カタクレサイトのみからなる破碎部であると判断した。
 - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 - 岩片は角礫主体であり、ジグソー状の角礫群が認められる。
 - 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。

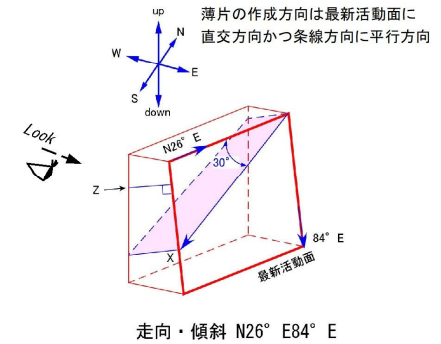
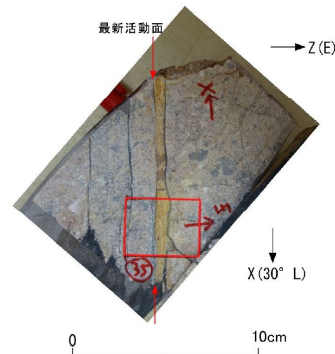
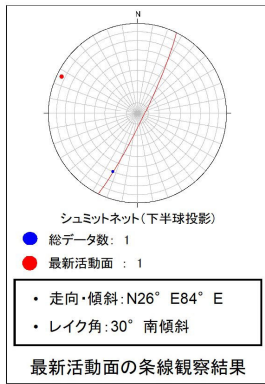


D-41破砕帯 薄片試料観察(H27-B-2 深度88.43m)

修正箇所

修正前

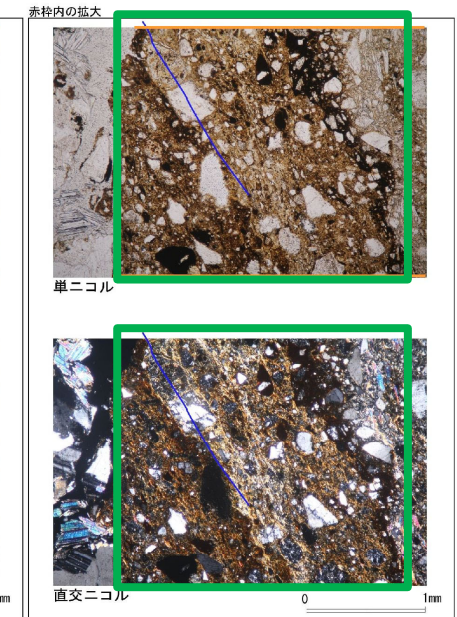
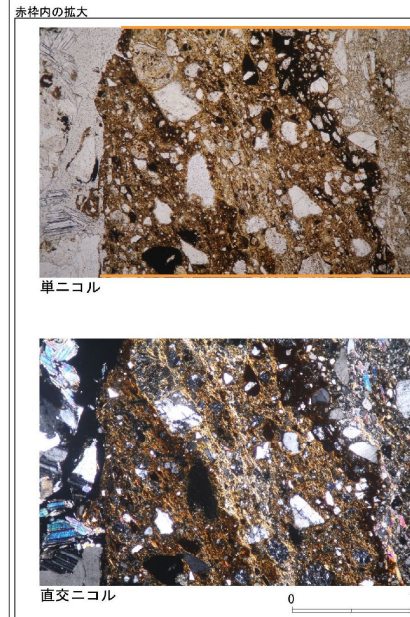
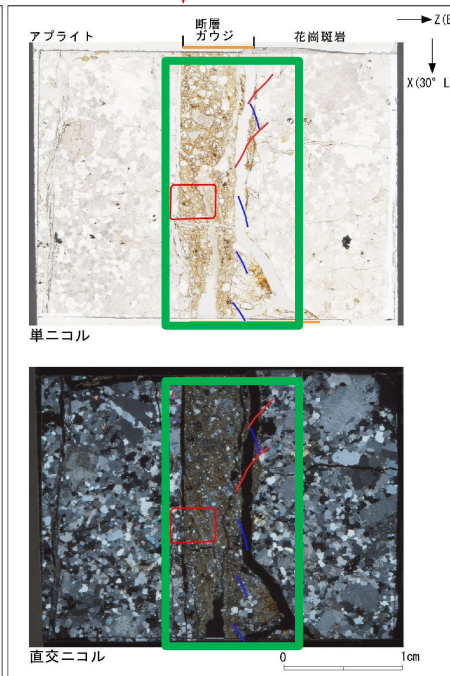
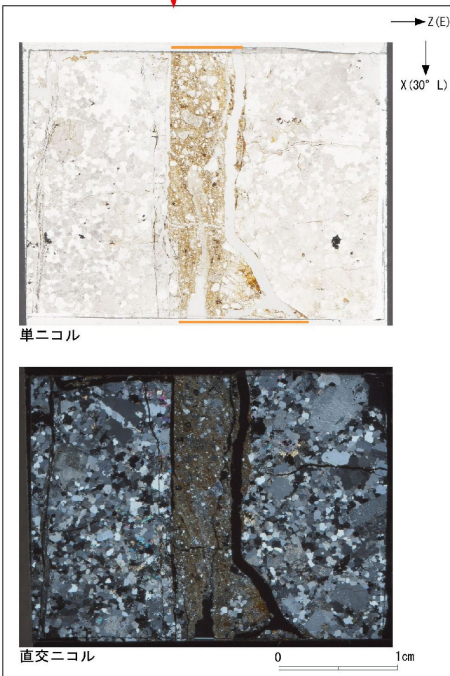
H27-B-2のボーリングコア(深度88.43m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。



※切断面に記載されているX方向は誤り

ブロックサンプル

X: 条線方向(下向きを正とする)
 Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

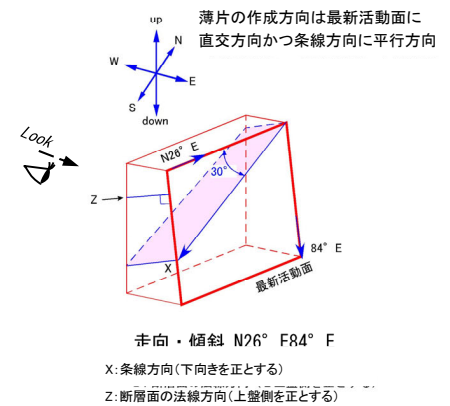
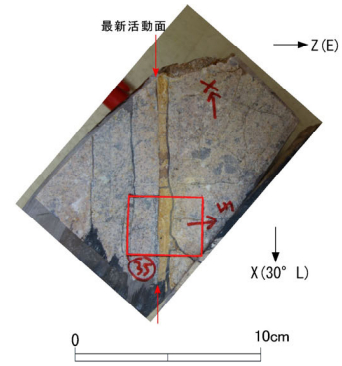
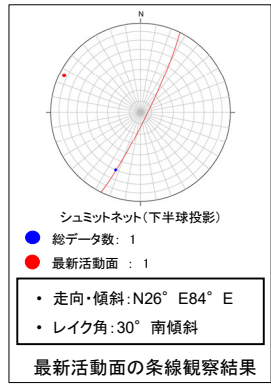


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

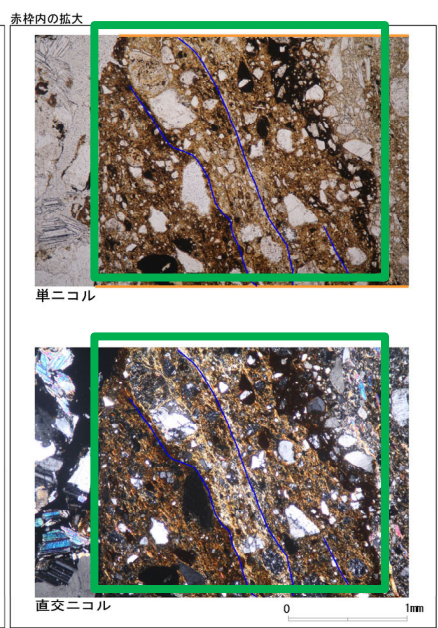
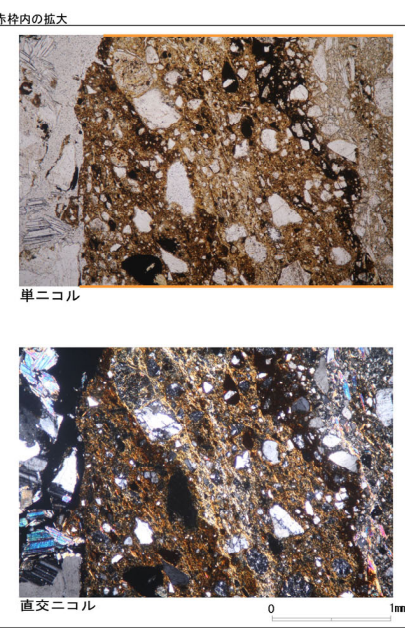
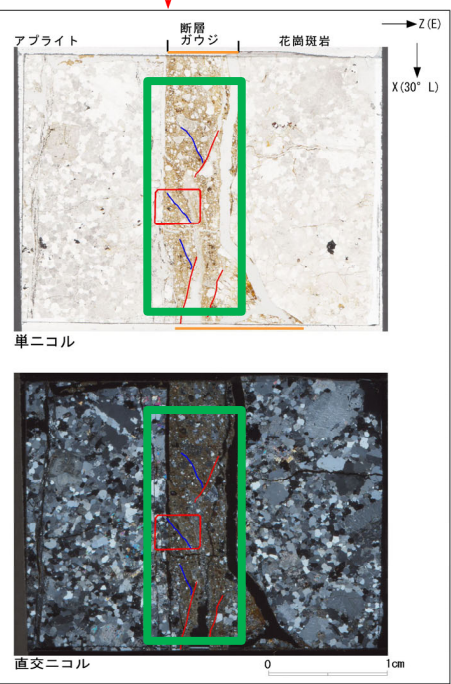
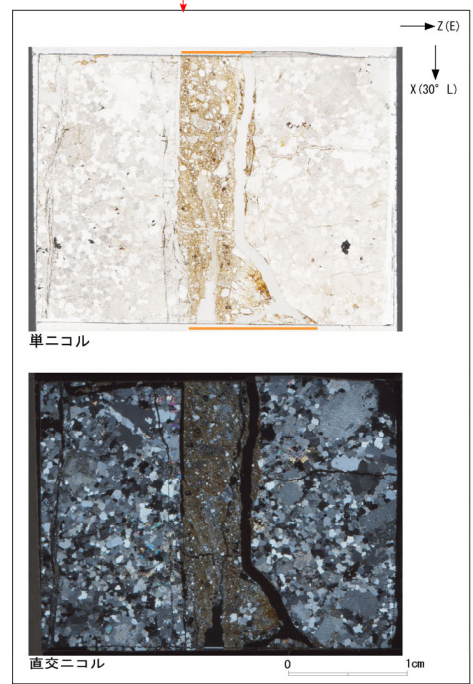
H27-B-2 深度88.38~88.43m D-41破碎帯

 : 修正箇所 修正後

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度88.43m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



※切断面に記載されているX方向は誤り
 ブロックサンプル

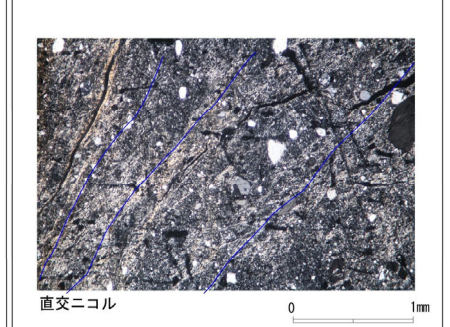
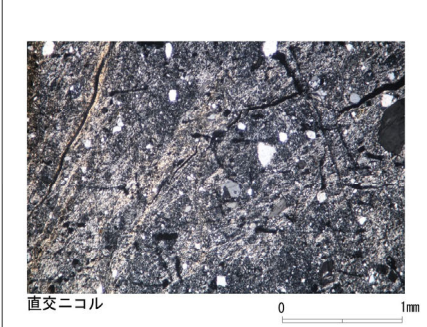
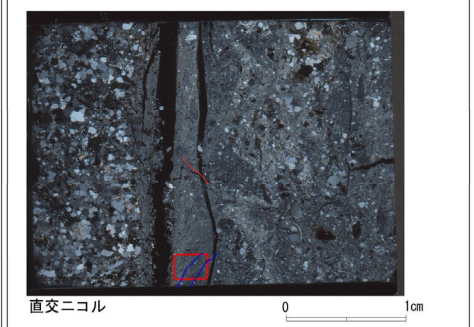
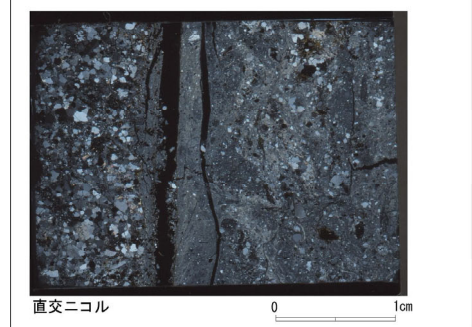
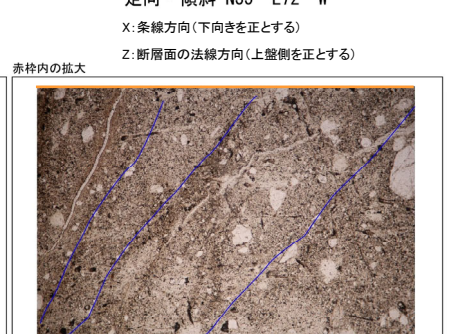
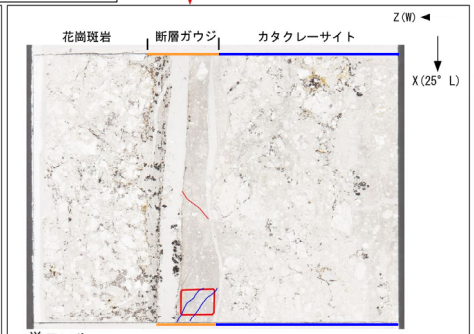
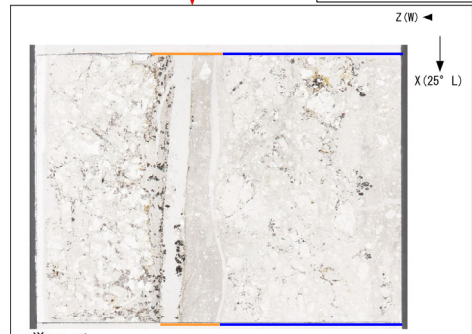
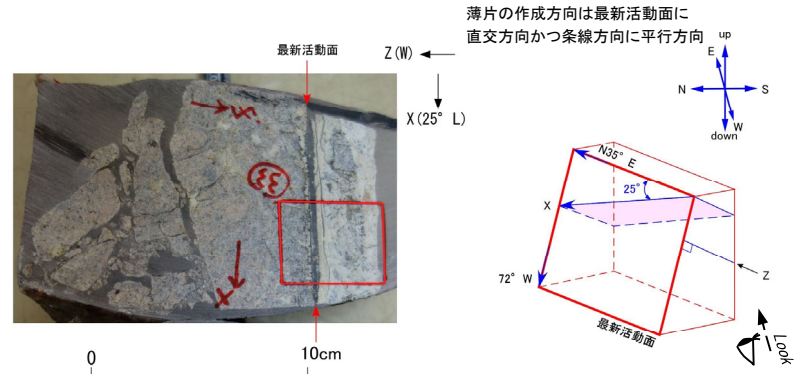
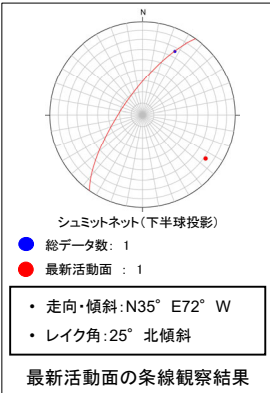


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-2 深度88.88~88.94m f-b-2-14破碎帯

修正箇所 : 修正後

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度88.91m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)




- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面



(参考)H27-B-2 深度88.88~88.94m f-b-2-14破砕帯の補足説明

修正箇所

当該破砕部については、性状一覧表の最新活動面の表示位置が誤っていた(誤:88.94m, 正:88.91m)。なお、薄片試料は正しい位置で観察している。



修正前
(第833回審査会合 机上配布資料2)

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角縁の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-b-2-14	H27-B-2 (傾斜45°)	88.88	88.94	N35E	72W	5.4	2.0	有	非平滑	25L	正	右	88  89

凡 例
 :最新活動面 ← → :破砕幅  :断層ガウジ

修正後

破砕帯名	確認箇所	破砕帯範囲		走向	傾斜	破砕幅 (cm)	断層ガウジ・断層角縁の幅 (cm)	最新活動面		条線方向	変位センス		写真
		上盤深度 (m)	下盤深度 (m)					明瞭なせん断構造変形構造	平滑さ		鉛直	水平	
f-b-2-14	H27-B-2 (傾斜45°)	88.88	88.94	N35E	72W	5.4	2.0	有	非平滑	25L	正	右	88  89

凡 例
 :最新活動面 ← → :破砕幅  :断層ガウジ

注)性状一覧表については今後提出予定

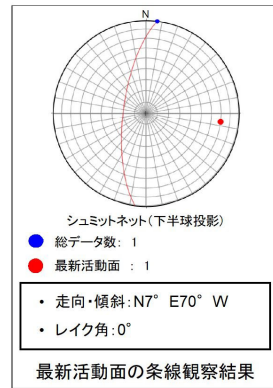
余白

非モデル化破碎部 薄片試料観察(H24-D1-3 深度52.13m)

 :修正箇所

修正前

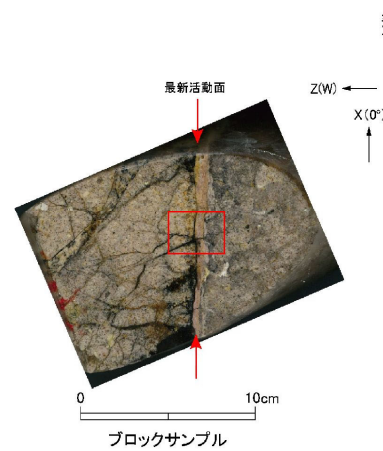
H24-D1-3のボーリングコア(深度52.13m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。



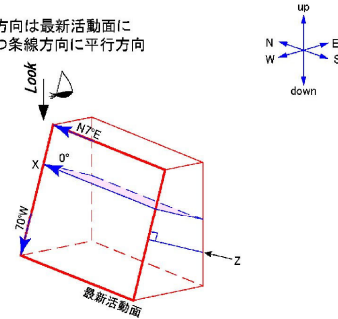
↑ ↓
最新活動面

↑ ↓
最新活動面

最新活動面の条線観察結果

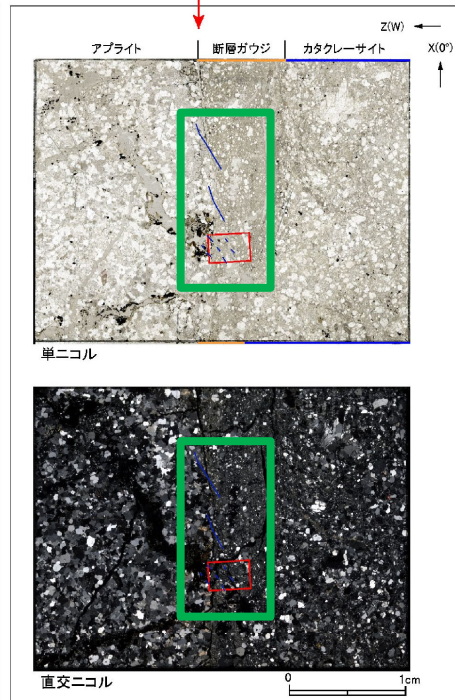
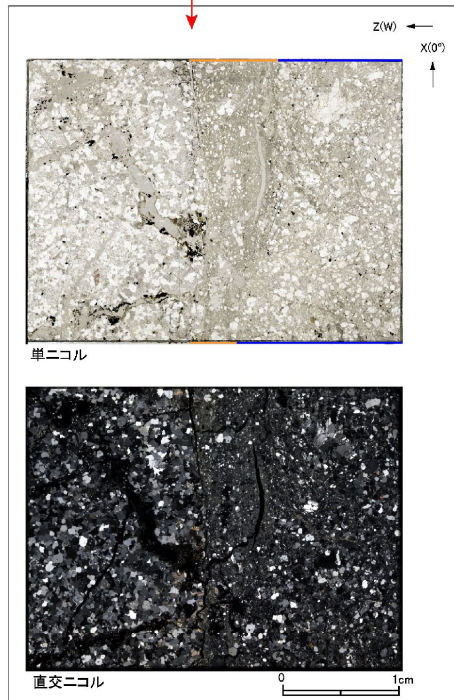


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



走向・傾斜 N7°E 70°W

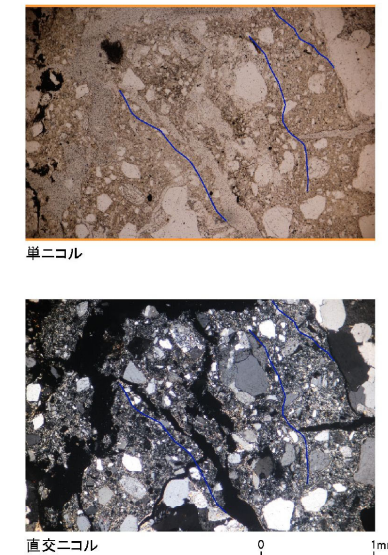
X: 条線方向(北向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



赤枠内の拡大



赤枠内の拡大

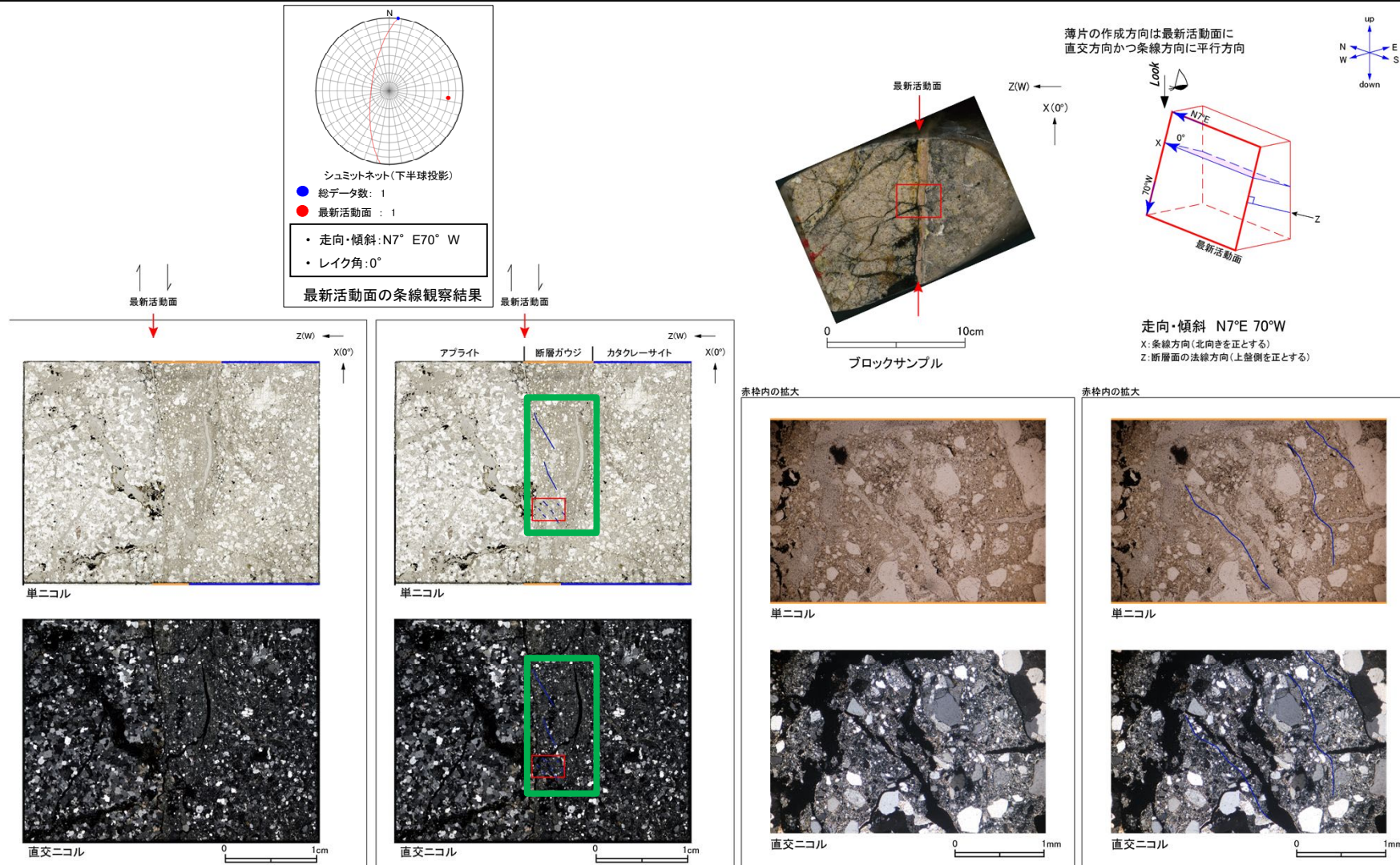


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H24-D1-3 深度52.13~52.28m 非モデル化破碎帯

 : 修正箇所 修正後

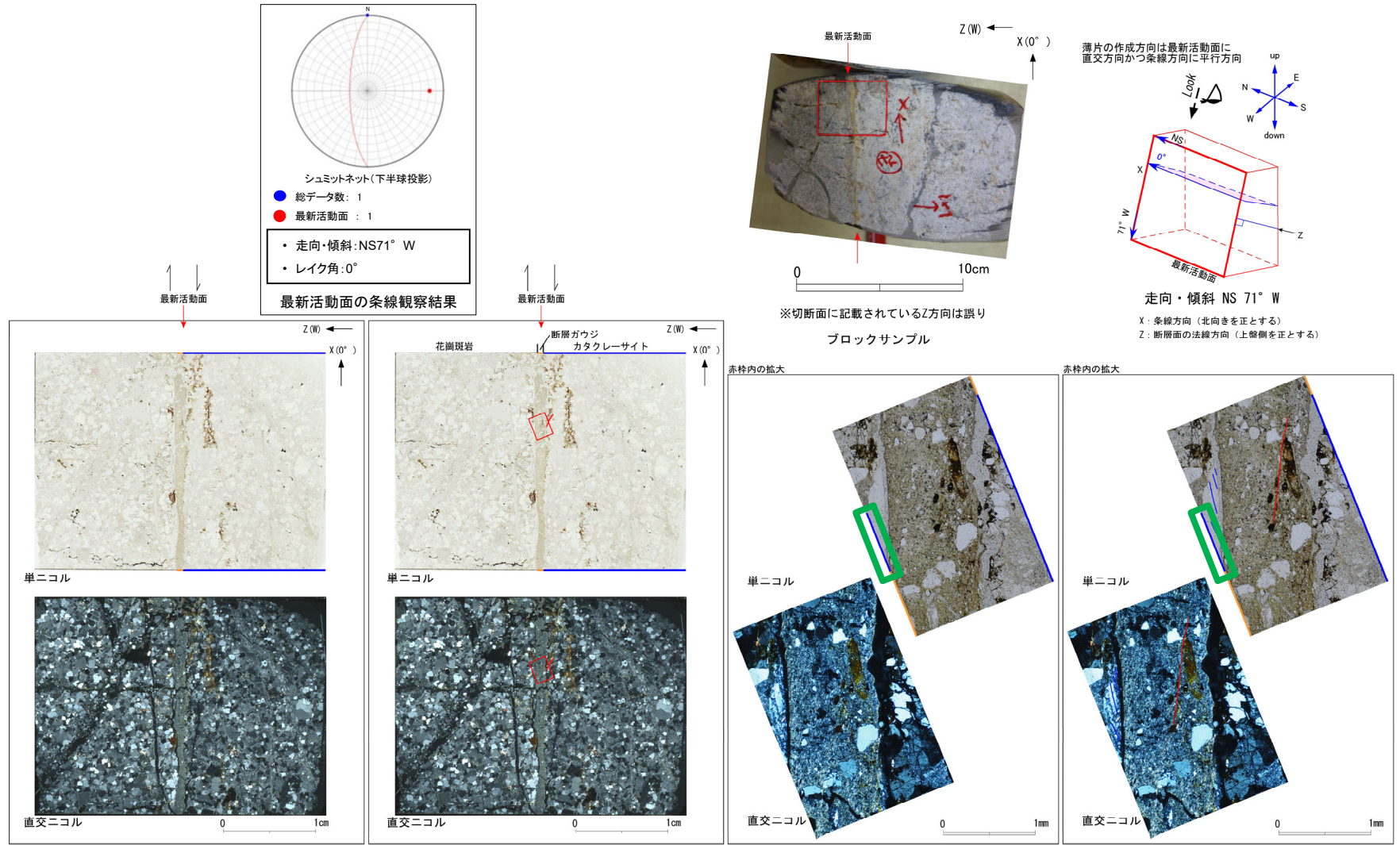
・H24-D1-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度52.13m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。
 ・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



H27-B-3 深度42.85~42.91m H-2破碎帯

 : 修正箇所 修正後

・H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度42.85m)の変位センスは、右ずれ成分が卓越する。
 ・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

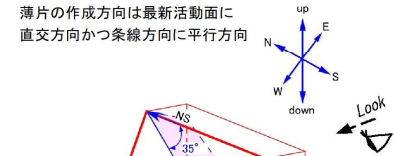
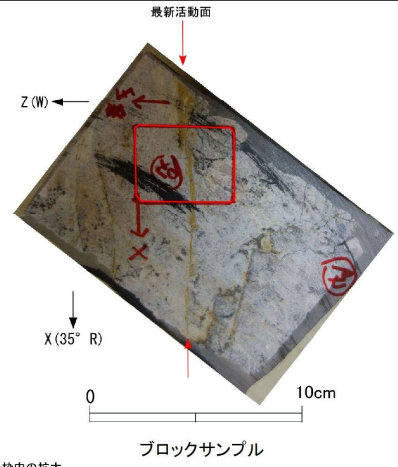
H-3c 破碎帯 薄片試料観察 (H27-B-3 深度76.59m)

 : 修正箇所

修正前

H27-B-3のボーリングコア(深度76.59m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、左ずれを伴う正断層である。

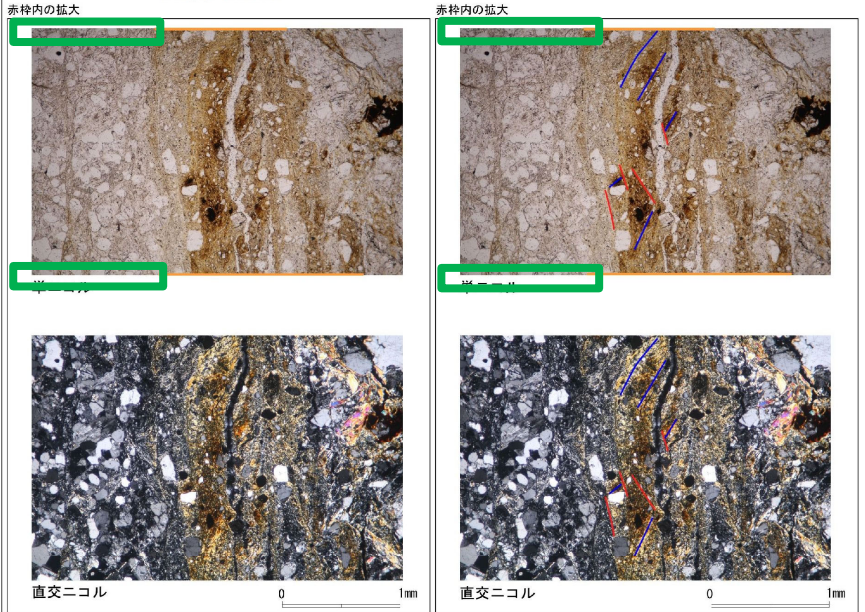
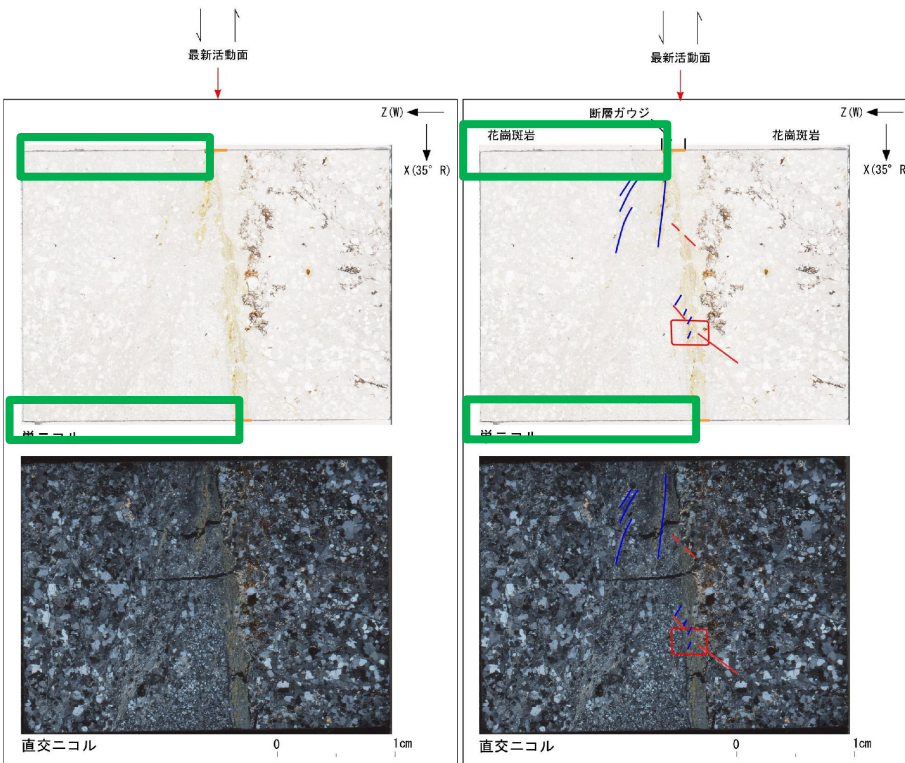
走向・傾斜データなし



薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

走向・傾斜 N-S走向 西傾斜 (仮定)

X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



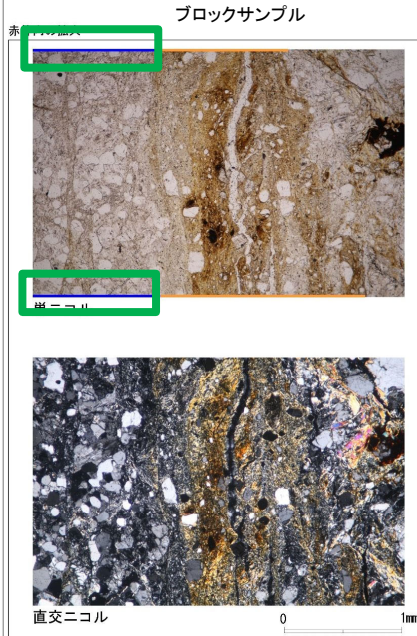
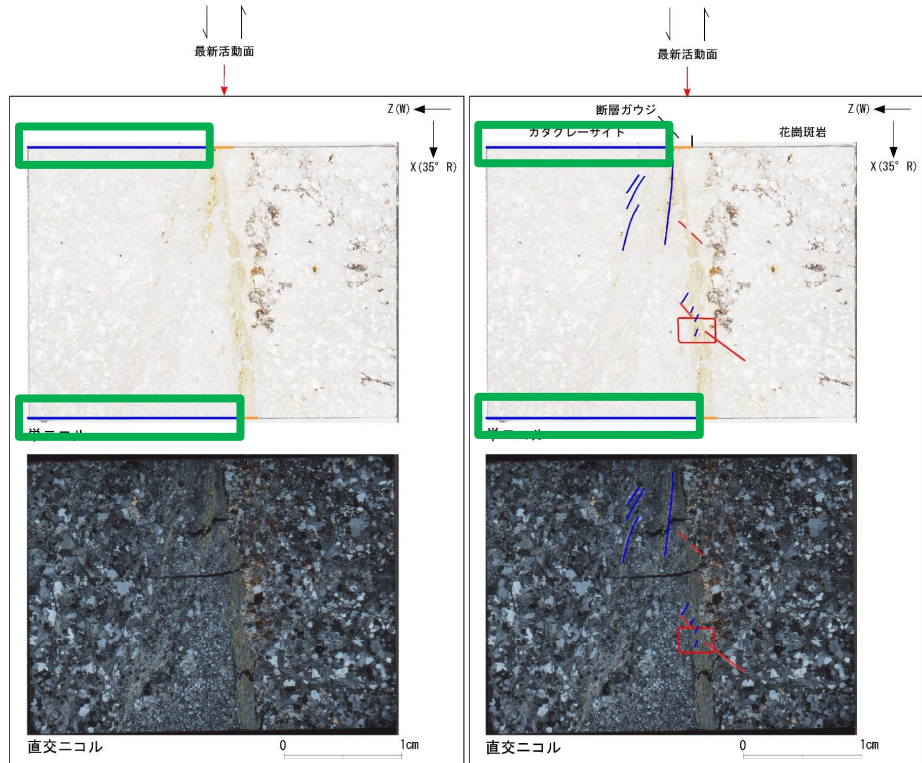
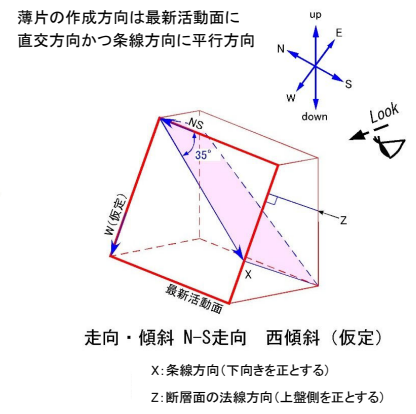
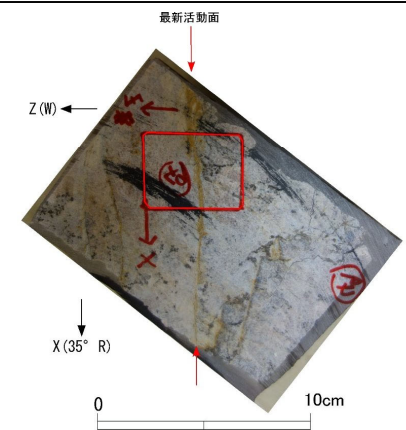
- 凡例
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H27-B-3 深度76.59~76.89m H-3c破碎帯

 : 修正箇所 修正後

・H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度76.59m)の変位センスは、左ずれを伴う正断層である。
 ・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

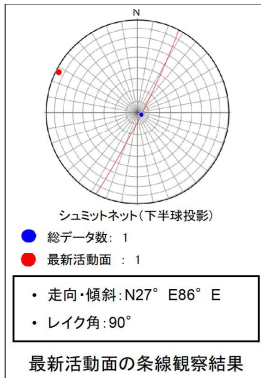
走向・傾斜データなし



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

非モデル化破碎部 薄片試料観察(H27-B-3 深度129.84m)

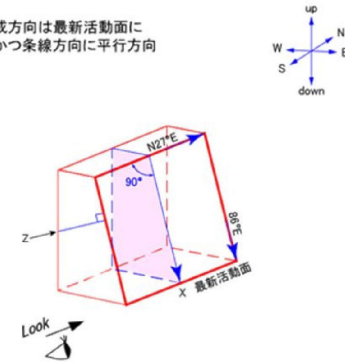
H27-B-3のボーリングコア(深度129.84m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、逆断層成分が卓越する。



最新活動面の条線観察結果



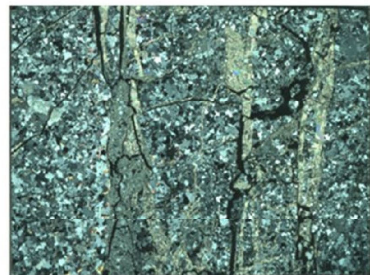
ブロックサンプル
0 10cm



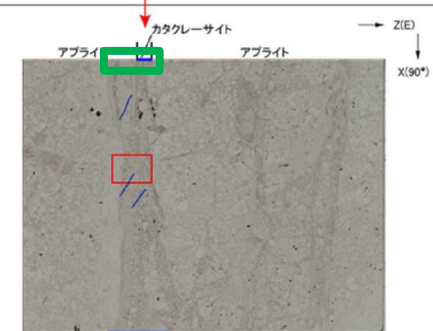
走向・傾斜 N27°E 86°E
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断面の法線方向(上盤側を正とする)



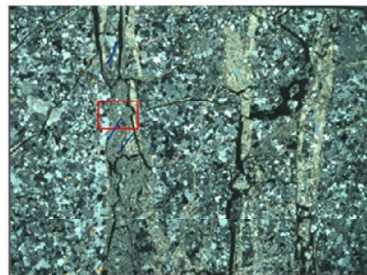
単ニコル



直交ニコル

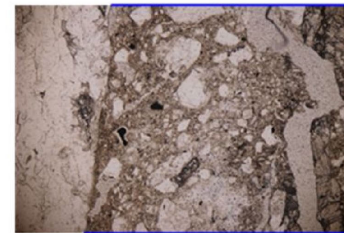


単ニコル

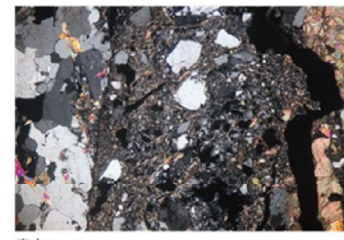


直交ニコル

赤枠内の拡大

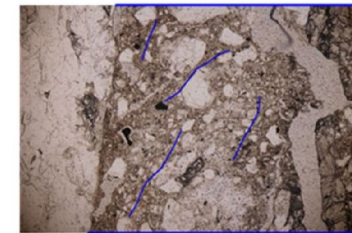


単ニコル

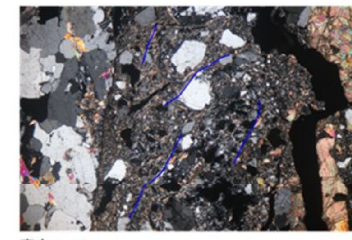


直交ニコル

赤枠内の拡大



単ニコル



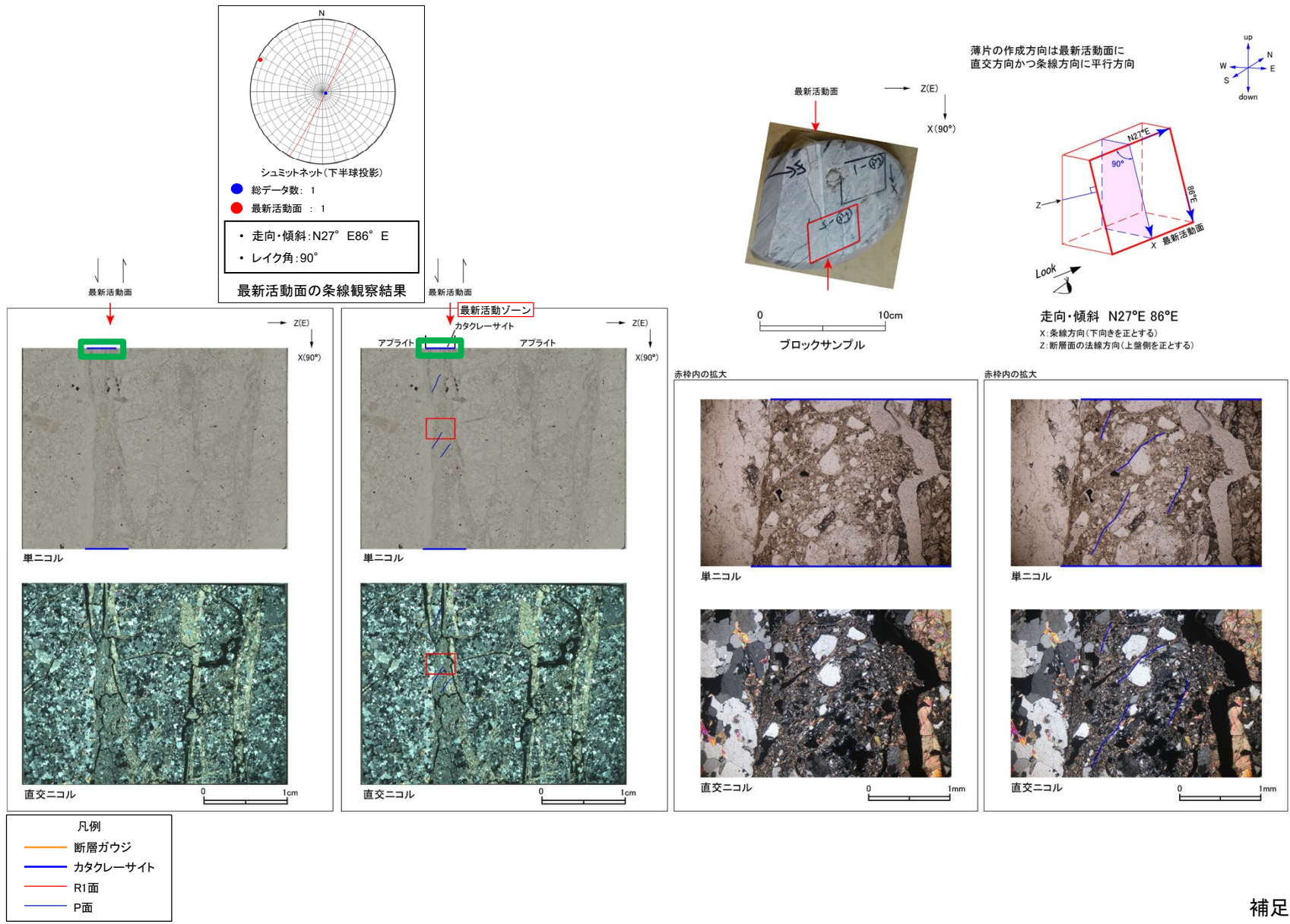
直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H27-B-3 深度129.84~129.91m 非モデル化破砕部

 : 修正箇所 修正後

• H27-B-3のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度129.84m)の変位センスは、逆断層成分が卓越する。
 • 薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことから、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



余白